

編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL 3209-1111(代)
年3回(7月, 11月, 3月)発行

新宿リサイクル情報紙

他にもこんなものが...

職場の中にも再生紙を!!

「再生紙」と聞いて、何を思い浮かべますか？
トイレットペーパーと答えたら、再生紙の使い道はそれだけじゃありません。最近はいろいろな商品が開発されています。いまリサイクル運動で最も求められていることは需要の拡大です。再生品を使ってこそリサイクル。今回は再生紙の事務用品特集、もつともつと環境に配慮した再生紙を使いませんか？



環境にやさしい
白色度70のコピー用紙

あなたのオフィスで使っているコピー用紙は天然パルプ製ですか？もしそうならば再生コピー用紙に切り換えましょう。できれば古紙の混入率が高くて白色度が低い(白色度70)ものをお勧めします。

白色度70のコピー用紙リスト (オフィス町内会調べ)

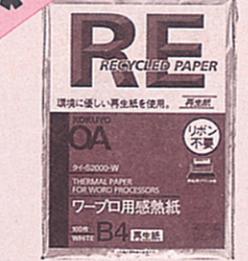
- 紙源PPC用タイプA(NBSリコー) ファイン再生紙(紀州製紙) 再生PPC(大王製紙) TRP-83(東海パルプ) マイスタップ(東海パルプ) エコペーパーキョウ高白印刷紙(トキワ) 再生紙MSP-R(日本アイ・ピー・エム) リボンPPC-W・ホワイト(日本製紙) R100紙(富士ゼロックス) コピーエースR(富士ゼロックスオフィスサプライ) コピーエースR100(富士ゼロックスオフィスサプライ) 三菱PPC用紙Re75マイリサイクル(大昭和製紙) やまゆり(本州製紙) ニューやまゆり(本州製紙) EN-500(キヤノン販売) NRホワイト(ミノルタ事務機販売) NRペーパー(コニカビジネスマシン) NR-A(コニカビジネスマシン) NR-AW(コニカビジネスマシン)

※製品についての詳細は文具店・サプライヤーにお問い合わせください。

白色度とは……紙の白さの指標として用いられ、光の反射量の割合を示したもの。一般的に使われている天然パルプ製コピー用紙は白色度「80」が多い。新聞紙は「55」くらい。ちなみに、この「すてないで」は白色度「70」です。

紙の白さと環境とお金の話

より白い再生紙を作るためには塩素系漂白剤をより多く使わなくてはなりません。また、そのために工程を多くしなければならず、当然製造コストは高くなります。「真っ白さ」をむやみに求めるのは環境への負荷を大きくするだけでなく、リサイクルの経済性もそこねることにつながるのです。



ワープロ用感熱紙【コクヨ株】



FAX用感熱紙【コクヨ株】



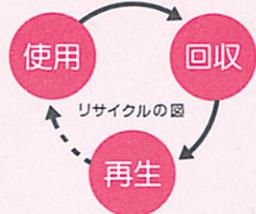
FAX送信用紙【プラス株】



ファイリングブック【プラス株】

※この他にも再生紙の事務用品は数多くあります。文具店等でお尋ねください。

いま、古紙のリサイクルが大きな岐路に立っています。せっかく回収した古紙が滞り、一部では逆有償回収(お金を付けて回収業者に引き取ってもらうこと)に踏み切れるしかないと言われていて、それは、図のように、再生品の需要が伸び悩み、古紙の供給量に需要量が追いついていないため起こっているのです。このまま需要供給のアンバランスが続けば、古紙のリサイクルシステム自体が危機に陥ってしまいます。安定的な古紙リサイクルのためにも、再生品を使うことが重要なのです。



環境部会・リサイクル推進課の定例... 1997年3月23日発行... 東京都新宿区環境部リサイクル推進課... 再生紙... 白色度70... リサイクルの図... 環境にやさしい... 白色度70のコピー用紙... 職場の中にも再生紙を!!

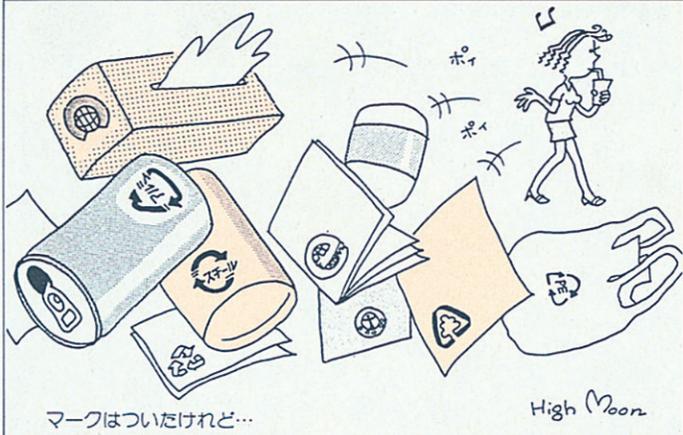
論奏

これでもいいかな。安易に使い捨て文化を享受している私がかう考えたのは、町内の仲間と資源回収に取り組み始めてからだった。ごみ集積所に無造作に捨てられる有価物、粗大ごみにはまだ使える家具や電気製品……。わあ、もったいない！仲間達との話し合いは専らごみを出さない工夫。そこから多くの事を教わり、自分の生活を見直し始めた。

これでもいいかな。カシミアのタッチ、絹の肌触りのトイレットロールやティッシュ。多くを輸入に頼る資源小国の日本が、パーリン原料を使い捨ての紙にこんなに浪費して良いのだろうか。古紙を回収するだけでなく、再生紙を使わなければ、白色度だって70で充分。白さへのこだわりを捨てよう。

これでもいいかな。山と積まれたアルミ缶。缶つぶし作業は苦にならなけれど、これって大量生産、大量消費、大量廃棄を助長しているのでは？川上の生産者への法的規制も必要だが、私達の大量消費型生活がこうした悪循環を作っている。

これでもいいかな。あれこれ疑問を抱えて講演会や勉強会に出かけ、他区の多くの同志と知り合う。北区目黒区、板橋区……。主体的に行政と関わり活動している他区の人達の熱意と行動力に目を見張る。早々とリサイクル条例を施行し分別収集にも力を入れる新宿区は、他区と比べて進んでいるのに、私達区民の意識は今イチ。もっと行政参加を考えなければ、とおもっている矢先に北区のリサイクラーの一喝「区民が行政に参加するといふより、区民の活動によってリサイクルの幹線道路が敷かれた今、路地の隅々に迄それを浸透させるのは私達区民の役目と心しているこのごろである。(M)



マークはついたけれど…

High Moon

(漫画ゴミック「廃棄物」VOL.1高月編著潮日報より)

春は曙リサイクルクイズ

休日、公園等で行われているフリーマーケット。さて、フリーマーケット (Flea Market) の日本語訳は「〇〇の市」。

- ① のみ
- ② だに
- ③ しらみ

はがきにクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見ご感想をお書きの上、リサイクル推進課までご応募ください。正解者のなかから抽選で50名にリサイクルグッズを差し上げます。〆切は3月28日(必着)。発表は発送をもってかえさせていただきます。

リサイクル生活

「空き缶で植木鉢」の巻



「すてないで」もおかげさまで5年目を迎えることができました。ところで、来年度から、春・夏併号を8月に、秋・冬併号を2月に発行する年2回体制になります。皆さんのお目にかかる回数が増えるのは嬉しい限りですが、より中身の濃い紙面を目指して参りますので、これからも応援してくださいね。皆さんのご意見ご感想をお待ちしています。

さて、今日23日が「簡易包装推進キャンペーン」の最終日だ。ご存じでしたか？今年では区内の百貨店さんと協力して強力にごみ減量・リサイクルの推進に邁進していきたいと思っています。皆さんも一緒に頑張りましょう。

編集後記

世界のリサイクル事情 その14

実践を通して政策を応援する
ヨーロッパの人々
—くらしのステイタス—
松田美夜子
(リサイクルシステム研究家)

ドイツごみ処理統計がドイツ連邦統計庁から発表されました。ドイツの最新ごみ処理事情をまとめたものです(1996年版)。この統計には、日本の容器包装リサイクル法のお手本となり、日本よりさらに厳しいリサイクル責任を企業にもたせた「ドイツ包装廃棄物政令」施行前(1990年)と施行後(1993年)のごみ量比較があります。

ドイツの人口は8,100万人、日本の人口は1億2,000万人。単純な比較はできませんがそれにしてもすごい……と思うのは次のデータです。

	家庭ごみ		産業ごみ	
	変化量(万トン)	割合(%)	変化量(万トン)	割合(%)
リサイクル	617	90.7	233	5.2
処理	△1,277	△29.5	△2,222	△42.1
総量	△659	△13.2	△1,988	△20.4

△は減少

つまり、この統計によると、ドイツは「包装廃棄物政令」を施行して一年過ぎたとき、家庭ごみを発生抑制で659万トン減らし、リサイクル量を90.7%増やし、ごみ処理量を29.5%、約1,277万トンも減らしました。

東京23区年間ごみ処理量が420万トンですから、この数字のすごさが分かります。

産業ごみはさらにすごい成果をだしています。ごみの発生抑制で1,988万トン、約20.4%減少し、処理量もなんと、2,222万トンの減量、つまり42.1%も減少したのです。

産業ごみのリサイクルが法律施行前と施行後では、5%の増量にとどまっているのに、ごみ処理量を42.1%も減らせたのは、産業界が、この法律によって、いかにごみ

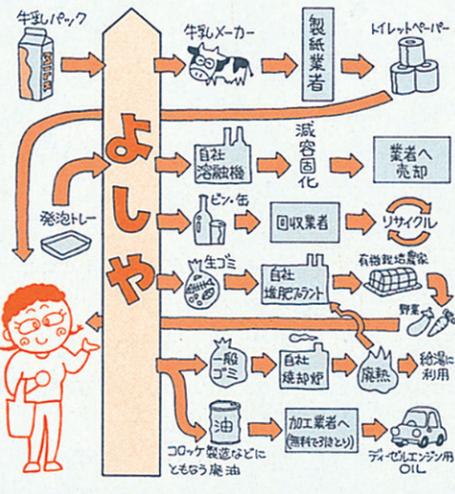
を出さない工夫をしたかが伝わってきます。シーメンスニクスドルフ社のように生産段階からリサイクルしやすい設計にしたり、プラスチックの複合素材の使用を中止したり、使い捨て商品をやめて、繰り返し使える容器を使い、飲料容器もデポジット制度を導入して、ごみを発生させないように企業が努力している姿勢が、みごとにこのデータに反映されています。

日本の容器包装リサイクル法は、この4月1日からスタートします。日本のごみ処理のデータは、一年後にどのような実績を示すでしょうか。法律を育てるのは国民の実践行動です。ドイツでは、買い物袋を持って買い物に行くのがステイタス。使い捨て容器を使うのではなく、繰り返し洗って使えるデポジットのついたびんを使うのがステイタス。つまり、質の高いくらしと評価されます。

私たちが今年はドイツに学んで、ごみを出さない質の高いくらしをめざしましょう。どうぞできるごみ仲間になってください。

アイディア凝らしてリサイクル

平成8年度新宿区リサイクル推進優良事業者(※)として、認定を受けた株式会社よしやの板橋区内にある株式会社よしや舟渡生鮮センターを取材しました。



みりちゃんの得たレポート

店頭回収された牛乳パック・トレーは、商品配送の帰り便で、この生鮮センターに運び込まれ、牛乳パックは、メーカーから製紙業者へ引き取ってもらい、トレーは、センター内で減容固化後、業者へ売却します。

その他に、店頭で回収された牛乳パックはトイレットペーパーとして販売し、店舗や流通センターから出る野菜の切りかす……等の生ごみは、自社販売する有機野菜の堆肥として有効利用しています。

※ 平成8年度に認定された新宿区リサイクル推進優良事業者については、3月25日号の新宿区広報でお知らせします。